

# 委員会通信

## 3常任委員会 管内視察を行う

総務、経済、文教の各常任委員会は、いずれも5月下旬に委員会を開き、関係部署の事務概要の説明を受けるとともに、管内の視察を行いました。

総務委員会は5月23日に開き、消防本部での説明の

後、消防本部新庁舎建設予定地、がまごおり市民まちづくりセンター、西浦町大山区の急傾斜地を視察しました。

経済委員会は5月29日に開き、蒲郡市農協総合集出荷場、国道247号中央バイパス荒子トンネル、蒲郡北駅前広場、クリーンセンター・リサイクルプラザ、蒲郡競艇場の順に視察しま

## 他市町村議会からの視察一覧

### 《2月》

- 7日 愛知県豊川市／下水道浄化センター
- 14日 和歌山県海南市／行政改革、事務事業評価

### 《4月》

- 15日 長崎県大村市／競艇事業

### 《5月》

- 21日 石川県羽咋市／観光行政

### 《7月》

- 9日 青森県弘前市／ハウスみかん、観光ビジョン
- 17日 沖縄県糸満市／ラグーナ蒲郡



クリーンセンターを視察する経済委員



市民まちづくりセンターで説明を受ける総務委員

した。

文教委員会は5月30日に開き、市民病院での説明の後、学校給食センター、蒲郡中学校体育館の耐震補強、生きがいセンター、保健センターを視察しました。



市民病院外来化学療法室を視察する文教委員

## ボートピア川崎の 私人委託についての報告

6月17日に開かれた経済委員会において、ボートピア川崎の私人委託についての報告がありました。

蒲郡市と常滑市とで共同運営しているボートピア川崎は、売り上げの低迷が続き毎年2億円以上の赤字を計上しています。両市は経費節減など運営改善を行ってきましたが、黒字への転換が難しいと判断し、またモーターボート競走法の改正がなされ、運営を私人へ委託することが可能になったことを受け、平成20年10



ボートピア川崎

委託するにあたっては、蒲郡市と常滑市が、運営費の3カ年分(4億5000万円)を受託初年度に一括して負担します。また、集計機器や発売機器等の更新費用(1億9545万円)を負担します。

月から、現オーナー会社の(株)ダイリツプランニングへ運営業務を全面委託します。私人委託することで、発売日数やナイターレースの発売期間の拡大、昼・夜4場の併売発売の実施などが可能となり売り上げ向上が見込まれます。また、現在利用されていない敷地に温泉施設等を建設し活性化を図ります。